

産業保健論	3年・後期	2単位	非常勤講師 高橋 美加
科目カテゴリー	看護提供のあり方	科目ナンバリング	33310922

1. 授業のねらい・概要

発展変化する産業構造と労働環境に即応した働く人々への産業保健が目指す健康の保持・増進について学ぶ。加えて、産業保健における看護活動の実際を理解し、健全な職業生活を支える労働衛生管理のあり方と看護職の役割について考える。

2. 学修の到達目標

1. 産業看護とは何かを知り、その重要性を理解する。
2. 労働衛生の現状、産業保健活動の現状を理解する。
3. 産業の場の特徴や職業性疾患、働く人の抱える健康問題を理解する。
4. 産業看護職の役割や活動の実際を理解し、効果的な産業保健活動を考える。

3. 授業の進め方

テキストを中心に、関連資料を追加しながら、最新の情報を加えて講義を行う。視聴覚教材を積極的に活用し、興味や理解を深められるようにする。

4. 授業計画（講義）

1. 産業保健・産業看護の理念 2. 産業保健・産業看護の歴史と現状 3. 産業保健活動を推進するための体制 4. 労働生理、産業疲労とその予防のための産業看護活動 5. 企業活動と産業保健・産業看護活動、産業保健計画 6. 職場における健康診断と産業看護職の役割 7. 職場における健康相談の実際 8. 健康づくりと産業看護職の役割	9. 救急処置・疾病管理と産業看護職の役割 女子労働者・障害者への健康支援 10. 職場におけるメンタルヘルスケアと産業看護職の役割 11. 職業性疾患、作業関連疾患とその予防対策における産業看護職の役割 12. 労働衛生教育の実際 13. 職場の安全管理と職場巡視 14. 働く人への保健指導 15. 産業保健の動向、産業看護活動の課題
--	--

5. 成績評価の方法・基準

定期試験 95%、レポートと講義中のワーク内容 5%

6. テキスト・参考文献

テキスト：河野啓子著：「産業看護学」 日本看護協会出版会
参考文献：労働衛生のしおり 中央労働災害防止協会

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

テキストの予習、30分程度（その他、必要に応じて30分程度の事前課題を与える場合がある）。

8. 受講上の留意事項

テキストからは読み取りにくい現場での活動や課題などを紹介するので、講義はしっかり聞き、積極的に参加すること。

9. 課題に対するフィードバックの方法

試験実施後解答などを掲示する。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり、修得できない場合進級不可となる。

11. 実務経験のある教員等による授業科目

現在、産業の現場で保健師として勤務している。現場での経験を活かし、最新の動向を交えながら講義を行う。